

かっこいい男の服装学ぶ

東山中 服育研究会講師が授業



ジャケットの正しい着方についてのクイズを考える生徒たち（東山中で）

男子校の私立東山中（左京区）で21日、服装に関する授業が行われた。1、2年生約2000人が「カッコ

いい男」になるための服装のポイントなどについて学んだ。

同校が「世界に羽ばたく

紳士を育てたい」として初めて実施。京都市などの学生服販売店など3社でつくる「京都服育研究会」の講師が、パソコンの映像を使い「人の第一印象を決める最大の要素が服装。自分をきちんと相手にわかってもらうためにも服装は大切」と説明した。

着こなしについて「男性は胸元をどう整えるかで印象が違う」とし、ボタンを留めたり、ネクタイを締めたりすることの重要性を指摘。ジャケットの正しいボタンの留め方、人に強い印象を与えるネクタイの色に関するクイズに、生徒たちは挑戦した。

1年今庄湧希君（13）は「服は黙っていても自分のことを語るとい言葉が印象に残った。今日の話を出して、かっこいい男の人になりたい」と話していた。

新聞

新

聞

言

2006年(平成18年)11月22日(水曜日)